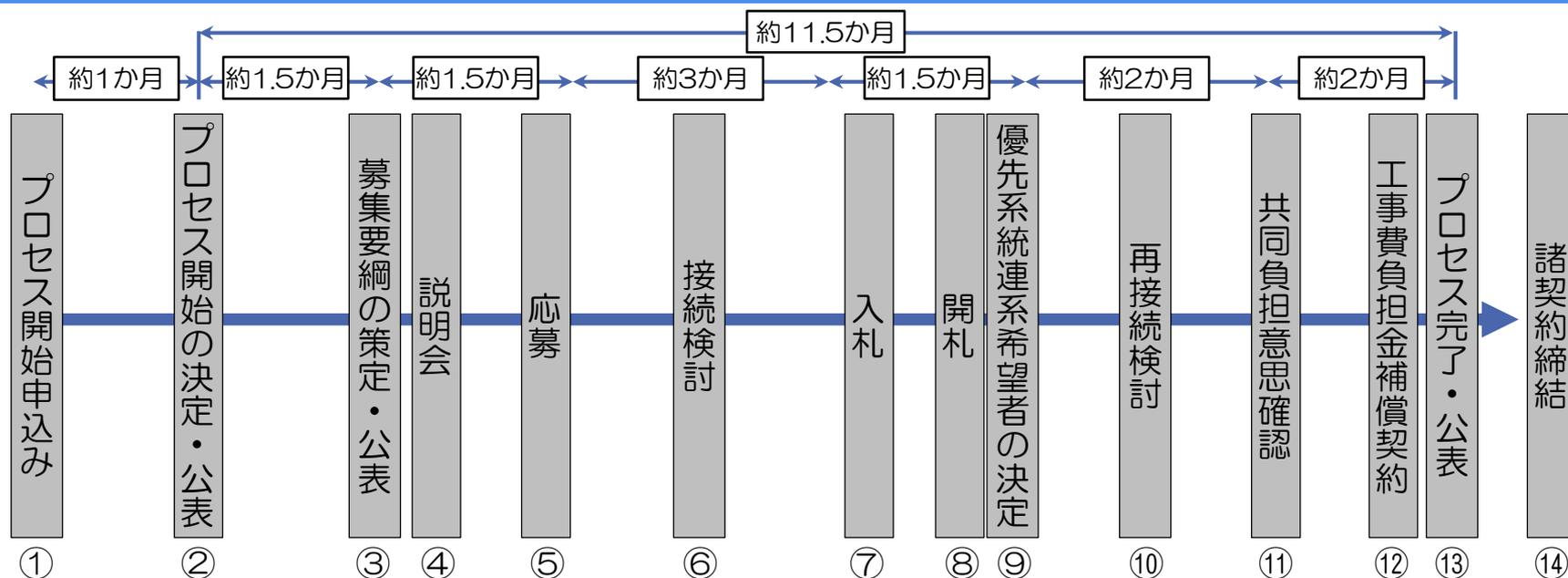


電源接続案件募集プロセスの課題について

平成 30年 4月 25日

効率的なアクセス業務の実務検討に関する作業会 事務局

電力広域的運営推進機関



課題	
全体	プロセス開始決定からプロセス完了まで1年程度の期間を想定しているが、プロセス実施中における系統連系希望者の辞退に伴い再検討が必要な場合など、1年程度でプロセスが完了しないケースがある。
①	開始申込みを行う系統連系希望者によっては、安易な開始申込みや取下げ、又はプロセスを開始しても応募や入札に応じないケースがある。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・応募容量・入札容量が未知の状態、対策を提示するため、実際の対策との乖離が大きくなる場合がある。 ・入札対象工事の工事費のみを示すため、応募時点ではその他供給設備を含めた事業性評価ができない。

	課題
⑥	全ての応募者が連系する前提で接続検討を行うため、提示金額の幅が大きくなる。
⑩⑪⑫	<ul style="list-style-type: none"> ・共同負担意思確認、工事費負担金補償契約の手続きにて事業者が辞退すると何度も再接続検討を実施する必要がある。(特に負担可能上限額の申告や第2次保証金が織り込まれていない現在実施中のプロセス。) ・最大で再接続検討を8回実施している。 ・当該プロセスの系統連系希望者の件数が多い場合や、大きな電源容量の辞退が生じる場合、再接続検討に更なる期間を要し、標準2ヶ月での回答が困難となるケースがある。
⑫	一般送配電事業者と発電事業者の相対契約であり、期限内での協議が整わない場合がある。